

## 別紙

## 温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社 明治		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒104-0031 東京都中央区京橋2-4-16	
本票作成	部署名：倉敷工場 装置技術課				
主たる業種	分類コード	09	業種名：食料品製造業		
事業の概要	牛乳・乳飲料、栄養食品の製造及び販売				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山工場		岡山県倉敷市西阿知町1286	
	②	倉敷工場		岡山県倉敷市玉島乙島字新湊8263番地26	
	③	西日本支社 岡山オフィス		岡山県岡山市北区駅前町2-1-1JR岡山駅第一NKビル4F	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 3 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 28 年度 ~ 令和 2 年度 ( 5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input type="checkbox"/> 原単位基準	3.0 %						○
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 27 年度)		目標年度 (令和 2 年度)						
	6,052 t CO <sub>2</sub>		5,870 t CO <sub>2</sub>						
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 27 年度) の排出量					
	①	岡山工場		5,946 t CO <sub>2</sub>					
	②	倉敷工場		0 t CO <sub>2</sub>					
	③	西日本支社 岡山オフィス		106 t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		CO <sub>2</sub> / ( )	CO <sub>2</sub> / ( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 27 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

## 【目標削減率設定の基本的な考え方】

本社より各工場にCO<sub>2</sub>の削減目標を設定されるため、工場では省エネの計画を立て計画的に改善の実施を行う。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

ISO14001に基づき、工場長をトップとした環境管理体制のもと、環境担当者により省エネ改善を推進している。

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
岡山工場	高効率ボイラー導入 ポンプのインバーター化、IPMモーター化 蒸気トラップの点検・更新 コンベアラインの待機時、停止制御導入
岡山オフィス	照明管理

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
岡山工場	ポンプ自動発停制御の導入 ポンプのインバーター化、IPMモーター化 最新蒸気トラップの更新 コンベアラインの待機時、停止制御導入 空調・冷凍機の更新
岡山オフィス	照明管理

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

倉敷工場は令和1年度（2019年度）の11月より稼働開始となり、エネルギー起源二酸化炭素排出量合計は3,095tCO2となった。そのため、令和1年度（2019年度）は岡山工場・岡山オフィス・倉敷工場の3拠点で合計排出量は目標未達となってしまった。また、岡山工場は令和1年度（2019年度）3月をもって生産中止となった。倉敷工場は段階的に生産物量を増やすため、令和2年度は岡山オフィス・倉敷工場の2拠点で約6,000tCO2を見込んでいる。よって、目標年度の設定を見込み量の3%減、5,870tCO2と設定し評価を行う。